

事例 高齢者の見守り（離床検知）

■ LPWA サービス導入の背景

□LPWA 導入の背景

介護施設の入居者が夜間に起床した場合、ベッドからの転倒や転落、徘徊の危険への対策が必要となっていた。

□LPWA 導入の目的

介護施設の入居者が夜間に起床したことを把握し、ベッドからの転倒や転落、徘徊による事故を未然に防ぐ。

■ 実証実験の取組内容について

□取組概要

介護施設のベッドやマットにシート状のセンサーを敷き、夜間に入居者が起床した場合に介護施設の職員に通知を行いベッドからの転倒や転落、徘徊による事故を未然に防ぐ。また、職員は起きたタイミングで通知を受け取ることができるため、見回りの省力化が可能。

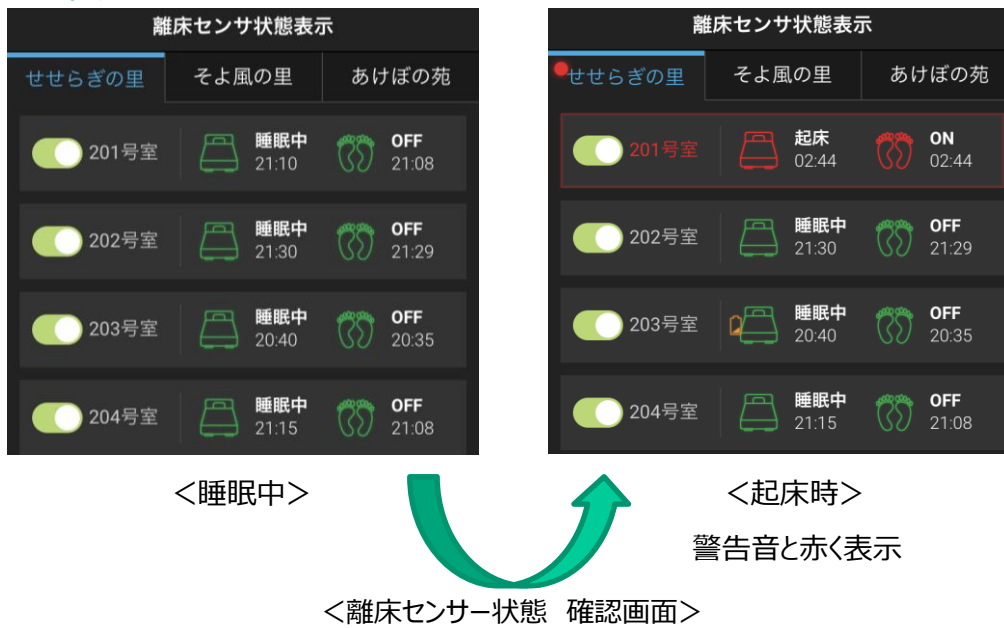


□導入した機器



<離床センサー>

□ サービス利用イメージ



□ 取得データの概要

項目：離床センサー
取得タイミング：随時

■ 導入効果

介護施設の職員の見回りの省力化と迅速な対応の実現。

■ 利用者の声

夜間の介護者の状況把握のため、これまでは2時間に一回程度巡回していたが、離床センサーの導入によりベッドから離れた時がわかるようになったため、その時点で適切な対応がとれるようになった。

■ サービス提供事業者

(株)マルニックス